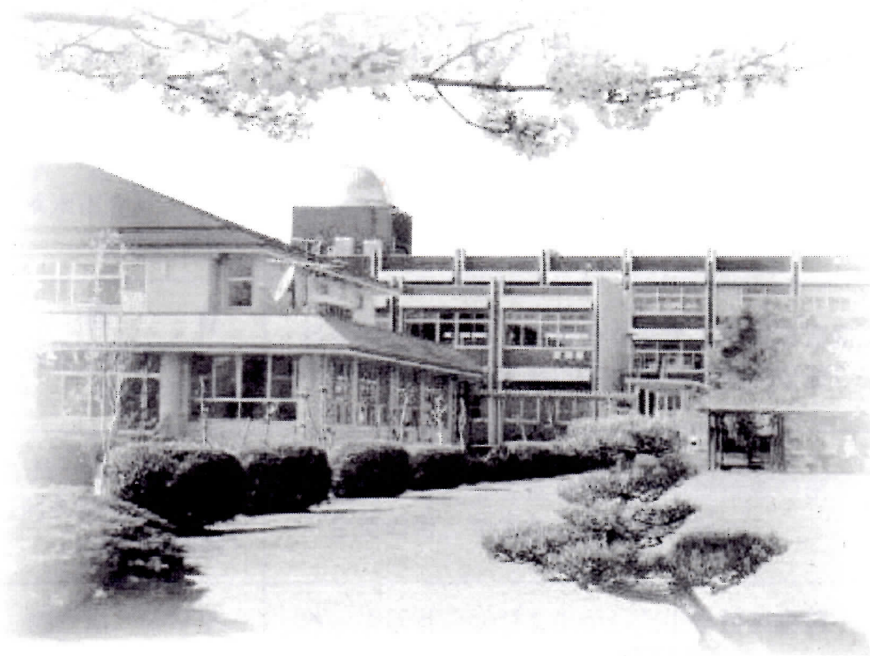


平成 2 3 年 度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成23年度 長期研修者一覧

番号	教科等	氏 名 (勤 務 校)	研 究 主 題
1	情報教育	牧 健 一 (鹿児島市立 城南小学校)	児童の発達の段階に応じた情報活用能力を育む教育の進め方 ー総合的な学習の時間及び国語科における情報教育の指導事項の関連付けを通してー
2	道 徳	藤 谷 祐一郎 (薩摩川内市立 川内小学校)	思いやりの心を持ち、共によりよく生きようとする子どもを育てる 道徳の時間の在り方 ー指導内容の重点化と道徳的価値観の深まりを追究する学習活動を通してー
3	外国語活動	宮 元 秀 樹 (霧島市立 青葉小学校)	進んで人と関わる楽しさを実感させる体験的なコミュニケーション 活動の在り方 ー英語ノートを基にした単元構成の工夫を通してー
4	道 徳	安 樂 朋 陽 (伊佐市立 大口東小学校)	子どもの自尊感情を育てる道徳学習の在り方 ー内容項目間の関連を図り、協同的な学びを生かした指導の工夫を通してー
5	理 科	吉 元 輝 明 (垂水市立 垂水小学校)	子どもが多様な情報を整理・活用し、実感を伴った理解を深める理科授業の工夫 ー直接体験の重視とICTの活用を通してー
6	理 科	牛 嶋 健 (南さつま市立 金峰中学校)	科学的な思考力、表現力を高める理科学習指導 ー中学校第1学年におけるレポート作成を通してー
7	保健体育	長 井 忠 友 (阿久根市立 大川中学校)	「運動好き」な生徒を育てる学習指導の創造 ー「生徒の力」を生かした授業設計ー
8	外国語 (英 語)	河 原 ミワ子 (錦江町立 錦江中学校)	外国語活動の学びを生かした中学校英語第1学年における「話すこと」の指導の充実 ー小学校で取り扱われた題材や語彙・表現の活用を通してー
9	国 語	近 藤 美 希 (鹿児島県立 指宿高等学校)	高等学校における古典の学習指導の在り方 ー「古典B」の単元構想を通してー
10	地理歴史 (世界史)	舟 木 鉄 平 (鹿児島県立 垂水高等学校)	「世界史B」における「主題を設定して行う学習」の指導法の研究 ー日本史と関連付けた世界史学習の実践を通してー
11	特別支援 教 育 (道 徳)	染 川 功 次 (鹿児島県立 武岡台養護学校)	生徒一人一人の豊かな心を育む特別支援学校高等部における道徳教育 ー障害の程度が比較的軽い知的障害のある生徒の生活に結び付いた道徳教育の在り方ー

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	情報教育	牧 健一	鹿児島市立城南小学校	児童の発達の段階に応じた情報活用能力を育む教育の進め方 ー総合的な学習の時間及び国語科における情報教育の指導事項の関連付けを通してー	本研究は、各教科等における、発達の段階に応じた情報活用能力を育む教育の進め方について研究したものである。 具体的には、情報教育の目標の3観点相互の関係に配慮しながら、各教科等の目標に応じた情報教育の指導事項を関連付け、情報活用に関する知識の構成を明らかにした。また、それを基に「題材化」と「関連付け」という手法で、各教科等の学習活動に情報教育の指導事項を位置付けることにより、児童に経験を通して、発達の段階に応じた情報活用能力が身に付くのではないかと考え、検証授業を行った。その結果、これらの手法が、児童に情報活用能力を育む上で有効であることが明らかになった。
2	道徳	藤谷 祐一郎	薩摩川内市立川内小学校	思いやりの心を持ち、共によりよく生きようとする子どもを育てる道徳の時間の在り方 ー指導内容の重点化と道徳的価値観の深まりを追究する学習活動を通してー	本研究は、「思いやりの心を持ち、共によりよく生きようとする子ども」を育てるために、「思いやり」という道徳的価値について指導内容の重点化を図り、道徳的価値観の深まりを追究する学習活動を行う道徳の時間の在り方について研究したものである。 具体的には、「思いやり」という道徳的価値を10の特性に整理し、子どもの発達の段階や実態を考慮して指導内容の重点化を図るとともに、話し合いを中心とする学習活動の工夫を中心に検証した。その結果、子どもに「思いやり」についての気付かせたい道徳的価値観を見いださせ、実践への意欲をもつ子どもの姿が多く見られるようになった。
3	外国語活動	宮元 秀樹	霧島市立青葉小学校	進んで人と関わる楽しさを実感させる体験的なコミュニケーション活動の在り方 ー英語ノートを基にした単元構成の工夫を通してー	本研究は、外国語活動において、子どもに進んで人と関わる楽しさを実感させる体験的なコミュニケーション活動の在り方を研究したものである。 具体的には、英語に慣れ親しませる段階的な指導を大切にしたい指導過程を確立し、身近な地域や他教科等の学習内容と関連させた単元の指導計画を作成し、授業で検証した。その結果、互いの気持ちや考えを伝え合い分かり合う体験的なコミュニケーション活動を充実させることができ、進んで人と関わる子どもの姿が多く見られるようになった。
4	道徳	安樂 朋陽	伊佐市立大口東小学校	子どもの自尊感情を育てる道徳学習の在り方 ー内容項目間の関連を図り、協同的な学びを生かした指導の工夫を通してー	本研究は、子どもたち一人一人の自尊感情を育てる道徳学習の在り方について研究したものである。 具体的には、まず、自尊感情やその構成要素を定義付け、内容項目との関連を明らかにした。そして、自尊感情の七つの構成要素に関わる内容項目間の関連を図り、子どもの実態や発達の段階に即して道徳の時間と各教科等を結び付けた、計画的、発展的な「『自尊感情』道徳学習」の指導計画を作成した。さらに、道徳の時間において「協同的な学び」を生かした指導法の工夫を行い、授業で検証した。その結果、自己を肯定的に評価したり、他者から肯定的に評価されたりする場を効果的に設定することができ、積極的に発表したり、自分の役割を主体的に果たしたりする子どもの姿が多く見られるようになり、本研究が、子どもの自尊感情を育てるのに有効であることが分かった。

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
5	理科	吉元輝明	垂水市立垂水小学校	子どもが多様な情報を整理・活用し、実感を伴った理解を深める理科授業の工夫 ー直接体験の重視とICTの活用を通してー	本研究は、自然の事物・現象に触れることで得られる情報やICTを活用して得られる情報など、多様な情報を整理・活用することを通して、実感を伴った理解を深める理科授業の在り方を研究したものである。 具体的には、多様な情報を獲得するための手立て、獲得した情報を視覚的に整理する手立て、情報を整理することによって身に付けた知識や概念を活用するための手立てを工夫し、授業を通して検証した。 その結果、獲得した多様な情報の整理・活用が実感を伴った理解を深めることにつながるということが分かった。
6	理科	牛嶋健	南さつま市立金峰中学校	科学的な思考力、表現力を高める理科学習指導 ー中学校第1学年におけるレポート作成を通してー	本研究は、科学的な思考力、表現力を高めるために、観察、実験を通して問題を解決したことをレポートにまとめる活動を取り入れた理科学習指導について研究したものである。 具体的には、科学的な探究の能力を高めるために、科学的に探究する活動を基本として言語活動の充実を図った授業の工夫をするとともに、レポート作成の力を高める段階的な指導を取り入れた指導計画を作成し、授業で検証した。 その結果、科学的な探究の能力が高まり、科学的に探究する活動の一連の流れを通して、科学的に思考したり表現したりしたことをまとめたレポートを作成できるようになり、科学的な思考力、表現力を高めるためにはレポート作成を通じた指導が有効であることが明らかになった。
7	保健体育	長井忠友	阿久根市立大川中学校	「運動好き」な生徒を育てる学習指導の創造 ー「生徒の力」を生かした授業設計ー	本研究は、生涯スポーツの実践者の育成という視点に立ち、「運動好き」な生徒を育てる学習指導の在り方を創造したものである。 まず、児童生徒（小・中学校・高等学校）と教師への意識調査を基に、学習指導上の課題を把握し、次に、「生徒の授業や教師に対する思いや願い」を生かした授業モデルと指導計画を構築した。さらに、運動の楽しさや喜びを実感させる学習指導の工夫をし、検証授業による生徒の変容から、有効性を確認した。 研究の結果、全ての生徒が運動技術の習得と授業を通じた楽しさを実感することができ、主題に迫ることができた。
8	外国語（英語）	河原ミワ子	錦江町立錦江中学校	外国語活動の学びを生かした中学校英語第1学年における「話すこと」の指導の充実 ー小学校で取り扱われた題材や語彙・表現の活用を通してー	本研究は、中学校第1学年の「話すこと」に着目し、小学校の外国語活動で取り扱われる語彙・表現を活用して、その充実を図る指導について研究したものである。 小学校の共通教材「英語ノート」の語彙・表現を中心に分析し、言語の使用場面に照らした活用や文法事項の正しい認識に役立つ活用を促す指導を通して、生徒の対話内容の向上が図られることを検証した。 その結果、「話すこと」の到達目標や年間・単元の指導計画に基づき、「英語ノート等」から選定した語彙・表現の想起の工夫を行い、各時間10分程度の対話活動に取り入れることで、生徒に負担をかけずに対話内容の質を向上させたり、英語の規則性に生徒自身に気付かせたりすることができるといことが明らかになった。

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
9	国語	近藤美希	鹿児島県立指宿高等学校	高等学校における古典の学習指導の在り方 －「古典B」の単元構想を通して－	本研究は、「古典B」の単元構想を通して、伝統的な言語文化としての古典を読む能力を育成する学習指導の在り方を研究したものである。 具体的な視点は、生徒に共感をもたせるための目的をもった「年間指導計画の作成」、主体的、課題解決的な学習のための「単元を貫く言語活動の設定」、また言語的抵抗をなくして、辞書を活用させて内容を理解させるための「傍注資料の作成指導」、さらに古語に着目させながら、読みを深めたり広げたりさせるための「学習の手引の活用指導」の4点である。 その結果、生徒が「古典を将来役に立つ」と実感し、古典を読む能力を身に付けるとともに、古典に親しませる指導につながったと考えられる。
10	地理歴史（世界史）	船木鉄平	鹿児島県立垂水高等学校	「世界史B」における「主題を設定して行う学習」の指導法の研究 －日本史と関連付けた世界史学習の実践を通して－	本研究は「世界史B」において、生徒の歴史的思考力を育成するための手立てとして、「主題を設定して行う学習」の指導の在り方について研究したものである。 具体的には、生徒が世界史学習に興味・関心をもって取り組めるように、「主題を設定して行う学習」において日本史と関連付けた主題を設定することで、生徒は中学校までの既習事項を生かしながら歴史的な事象の本質に迫る問いをもち、追究する活動の中で歴史的思考力が育成できるのではないかと考え、授業を通して検証した。 その結果、レポートの作成や討論活動を通じて、諸資料を活用して歴史的な事象の推移や因果関係を多面的・多角的に考察することや、歴史的な事象を解釈し、生徒が自分の言葉で表現することができた。 このことから、「主題を設定して行う学習」において日本史と関連付けた指導を工夫することは、生徒の歴史的思考力を高める上で有効であることが明らかになった。
11	特別支援教育（道徳）	染川功次	鹿児島県立武岡台養護学校	生徒一人一人の豊かな心を育む特別支援学校高等部における道徳教育 －障害の程度が比較的軽い知的障害のある生徒の生活に結び付いた道徳教育の在り方－	本研究は、知的障害特別支援学校における道徳教育の充実を図るためには、どのような方法があるかということについて研究したものである。 具体的には、「障害の程度が比較的軽い知的障害のある生徒の生活に結び付いた道徳教育の在り方」について、各教科等を横断的に結び付けた年間指導計画作成を通して、道徳教育の進め方を明らかにした。実態調査等を基に、知的障害特別支援学校の道徳教育についての課題を探り、総合単元的道徳学習の考え方を基にして、各教科等と道徳の内容項目の関連を図り、生徒の生活に結び付いた内容を、実際の場面で具体的な活動を通して指導する方法を検証した。 その結果、よりよい人間関係を築いていこうとする生徒の姿や、他人と協力しつつ相手を思いやる気持ちをもとうとするなど、生徒の社会参加へつながる意欲や態度を育むことができた。